ID 氏名 年齢 科名 病棟

BEP 療法

週毎 コース予定

疾患名 胚細胞腫瘍

主治医 指導医

HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

BEP療法

		day1	day2	day3	day4	day5	•••	day9	•••	day16	
ブレオ	30 mg/body		1					1		Ţ	
エトポシド	100 mg/m^2	1	1	1	1	1					
シスプラチン	20 mg/m^2	1	1	1	ļ	1					

【注意】

- *エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時100mgを輸液250mL以上で溶解し (濃度0.4 mg/mL以下の濃度になるように)、30分以上かけて点滴静注する またDEHPフリー点滴セット(フィルターなし)を使用する
- *1日の尿量が2000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。
- *シスプラチンは遮光のこと

☆通常量より減量する際の理由☆	7
-----------------	---

(レジメン)

Day 1 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125mg)1Capを内服

① 生食 500 mLで血管確保

維持(20 mL/時間)

② グラニセトロン注 3 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 100 mL

点滴静注30分

1

③ エトポシド + 5%ブドウ糖 500 mL 点滴静注120分

④ シスプラチン + 生食 500 mL 点滴静注120分

(5) オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服(※糖尿病患者は禁忌)

Day 2

① 生食 500 mLで血管確保

維持(20 mL/時間)

② グラニセトロン注 3 mg + デキサメタゾン 9.9 mg + 生食 100 mL

点滴静注30分

③ ブレオ + 生食50mL 点滴静注5分(600mL/時間)

4 エトポシド

+ 5%ブドウ糖 500 mL

点滴静注120分

(5) シスプラチン + 生食 500 mL

点滴静注120分

Day 2-4 オランザピン 5 mg 1錠 1×タ 内服(※糖尿病患者は禁忌)

Day 2-5 アプレピタントカプセル(80 mg) 1 Cap 1 × 朝

Day 3-5

① 生食 500 mLで血管確保

維持(20 mL/時間)

② グラニセトロン注 3 mg + デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 100 mL

点滴静注30分

③ エトポシド

+ 5%ブドウ糖 500 mL

点滴静注120分

4 シスプラチン

+ 生食 500 mL

点滴静注120分

Day 9,16

① 生食 500 mLで血管確保

維持(20 mL/時間)

② グラニセトロン注 3 mg + デキサメタゾン 6.6 mg + 生食 100 mL

点滴静注30分

③ ブレオ

十 生食50mL

点滴静注5分(600mL/時間)

BEP療法

111-1									
	コース								
	day1	day2	day3	day4	day5	day9	day16		
月日	/	/	/	/	/	/	/		
ブレオ		1				↓ ↓	↓ ↓		
開始時間									
エトポシド	↓	Ţ	Ţ	↓	Ţ				
開始時間									
シスプラチン	↓	↓ ↓	↓ ↓	↓	↓				
開始時間									
確認									

	コース								
	day1	day2	day3	day4	day5	day9	day16		
月日	/	/	/	/	/	/	/		
ブレオ 開始時間		Ţ				Ţ	1		
エトポシド 開始時間	Ţ	Ţ	Ţ	Ţ	Ţ				
シスプラチン 開始時間	Ţ	Ţ	Ţ	↓	Ţ				
確認									

	コース								
	day1	day2	day3	day4	day5	day9	day16		
月日	/	/	/	/	/	/	/		
ブレオ		Ţ				ţ	1		
開始時間									
エトポシド	Ţ	Ţ	1	Ţ	↓				
開始時間									
シスプラチン	Ţ	Ţ	Ţ	Ţ	↓				
開始時間									
確認									

	コース								
	day1	day2	day3	day4	day5	day9	day16		
月日	/	/	/	/	/	/	/		
ブレオ		Ţ				Ţ	Ţ		
開始時間									
エトポシド	1	1	Ţ	Ţ	Ţ				
開始時間									
シスプラチン	Ţ	Ţ	Ţ	Ţ	Ţ				
開始時間									
確認									